

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」



1学年 保健体育

授業

器械運動(マット運動)

目標：器械体操の連続技を習得する

【Chromebookを活用した器械運動の記録と評価】

器械運動の練習において、自身の試技と手本となる動画や、情報サイトを見比べるなどして、技術の向上に繋げる。
また、各試技について適宜録画・保存する。そのうち一番出来のよかった動画を先生に提出し、先生はその動画を基に評価を実施する。



教科担当の先生のコメント

器械運動に於いて、Chromebook(動画)を活用することで、これまでの授業の振り返りや自身の技能の向上を確認することができ、自身の一番出来の良い試技を選んで提出できることで、授業に対するモチベーションアップにもつながっている。また、動画教材を参考にすることで生徒間の教え合いも発生している。

《授業の流れ》

1 学習の見直し

前時までに習得した技術や重点を確認し、試技の順序について説明

2 動画を活用しながら各自で練習

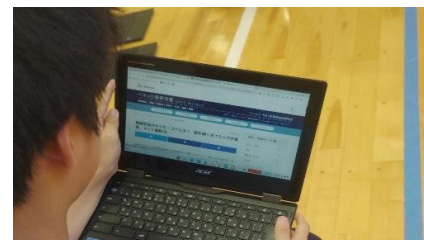
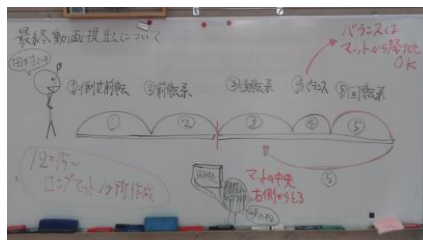
教師の指導や、動画での比較、情報サイトでの確認など、さまざまな情報を基に各種目を練習

3 試技の撮影

生徒同士でペアを組み、課題である連続技の試技を動画で撮影

4 試技の提出

自分の試技の結果でより良い動画を選択して提出



【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」



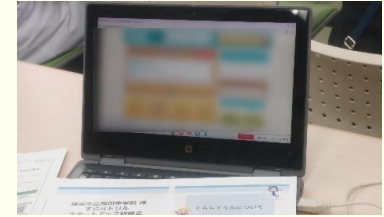
研修

個別最適な学習を促進するためのAIドリルの活用

目的：AIドリルの基本的な機能を理解し 学校全体での推進を図る

【AIドリル※の全校での一斉活用】

個別最適な学習としての「持ち帰りの際の端末有効活用」や「授業内での活用事例」及び「目標設定機能」を活用することで、生徒のさらなる個別最適な学びを促進するための研修を実施しました。



研修企画担当の先生のコメント

これまでの活用は、生徒の学習量の向上に比重を置いていたが、学年などのグループごとに目標設定機能を活用することで、生徒の自主性を尊重した上での評価や進捗確認が可能となる。また、出題や採点が自動化されることによって、教師の負担が軽減されるので、学校全体で推し進めていきたいと考えている。

《研修の流れ》

1 概要紹介

AIドリルの基本操作に関するレクチャー及び活用事例の共有



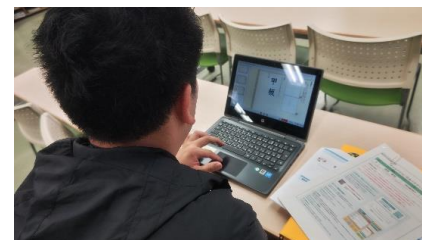
2 基本操作・設定

AIドリルを活用した課題の設定方法や、生徒画面での見え方について理解



3 個別最適な学びを促進する機能

目標設定機能を使い、生徒に課題を配信したり、生徒の進捗状況を確認したりする方法を理解



4 効率的な分析・把握

つまずきの診断から、知識の定着を図る効率的な機能について理解

